

あびこ 北地区社協だより

No.60

20th



みなさまとともに
北地区社協20周年

～布施・久寺家・つくし野・並木・我孫子・根戸～

発行 平成 31 年 2 月 1 日
我孫子北地区社会福祉協議会
編集・制作 広報調査部会
問い合わせ：平日 9 時～16 時

〒270-1164 我孫子市つくし野 3-22-2-204
我孫子ビレジ・ショッピングセンター2F
<TEL・FAX> 04-7165-3434 <e-mail> kita@abiko-shakyo.com
<ホームページ> <http://kita.abiko-shakyo.com/>
<ブログ> <http://kita-blog.webnode.jp/>

◆◆◆ご挨拶

我孫子北地区社会福祉協議会 ◆◆◆

～20 周年を踏まえて「今まで、そしてこれから」～ 会長 柏崎 房男

『あらゆることに自分を勘定に入れずによく見聞きして分かりそして忘れず……日照りの時は涙を流し寒さの夏はおろおろ歩きみんなにでくのぼーと呼ばれ褒められもせず苦にもされずそういうものにわたしはなりたい』。これは、私の好きな宮沢賢治の「雨にも負けず」の詩です。

私自身は、20年あまり両親の介護をしておりました。当地域の皆様方の暖かい手助けにどんなに助けられたことか…。そう、20年前の1998年に我孫子北地区社会福祉協議会が設立されましたが、介護保険制度が出来る前で、認知症が痴呆症と呼ばれていた時代です。その頃から多くの方々がボランティアや社協委員として頑張っていただき、加えて地域の皆様の温かいご支援ご協力があつたからこそ20周年を迎えることができたのだと心から感謝いたしております。

しかし、20 年前と現在では要介護者も 200 万人から 2017 年で 630 万人、介護者も殆ど女性だったのが三人に一人が男性となり、60 歳以上が 7 割と「老々介護」が現実となっています。このような状況の中で、国の方針も施設介護中心から在宅介護への移行を加速しています。また、仕事をしながら介護をしていらっしゃる方も増えています。

北地区社協には、急激な状況の変化の中でどのような役割があるのか？

地域の皆様が安心して暮らせる地域になるのには何をしたらいいのか？

地区社協には、地域の皆様方の所に直接伺って具体的なお手伝い・支援事業等を自ら開発・提供・運営する責任や権限はありませんが、少なくとも、困って悩んでいる方々の情報やお話を、多様な福祉サービスを提供する各組織の方々に効果的に繋げて助力する事はできます。即ち、「地域の共助」のネットワーク作りの要として積極的役割を担って行きたいと思っています。



昨年より地域住民に一番近いコミュニティ組織の町会・自治会・諸団体に伺って、北地区社協の活動案内や意見交換をさせていただいております。皆様にお声をかけていただければ、いつでもどこへでも伺わせていただきます。

また、北地区社協各委員も地域の皆様方に気軽に声を掛けられ話していただける情報交換やお話し相手の役割を果たせ、かつ当会事務所も「皆様のお休み処」になれば、とも思っています。

私ども北地区社協は、地域福祉で「雨にも負けず」の詩のような存在でありたいと思います。これからも我孫子北地区社会福祉協議会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

★平成 31 年 3 月 3 日(日)恒例の「22 回健康と福祉のつどい」開催！（詳細は 4 ページ参照）

昨年、2 件の匿名の寄付金のご協力をいただきました。有難うございました。
北地区社協の諸活動に有意義に活用させていただきます。

★北地区社協と参加諸団体との意見交換会を実施しています！★

⇒まずは、昨年10月と12月に「つくし野南自治会」・「つくし野東自治会」と意見交換しました。

🏠【主旨は！】北地区社協は、30自治会・町会・居住者会と12諸団体及び協力委員7名の計49名で構成される委員、それにサポーター・ボランティアの方々と諸事業や活動をしています。その事業資金は市社協からの交付金と上記の参加諸団体の協賛金、またバザー収益金や寄付金等で成り立っています。20周年の活動を踏ま

え、新たな地域共生社会構築に向け大きな役割を担う「共助」の分野で主たる地位を占めるため、まずは地域福祉の利益を享受すべき地域住民の自治会・町会・居住者会の諸課題や意見を順次伺っています。その結果を反映して、今後の北地区社協の事業や諸活動を見直す糧にさせていただくことが今回の目的です。

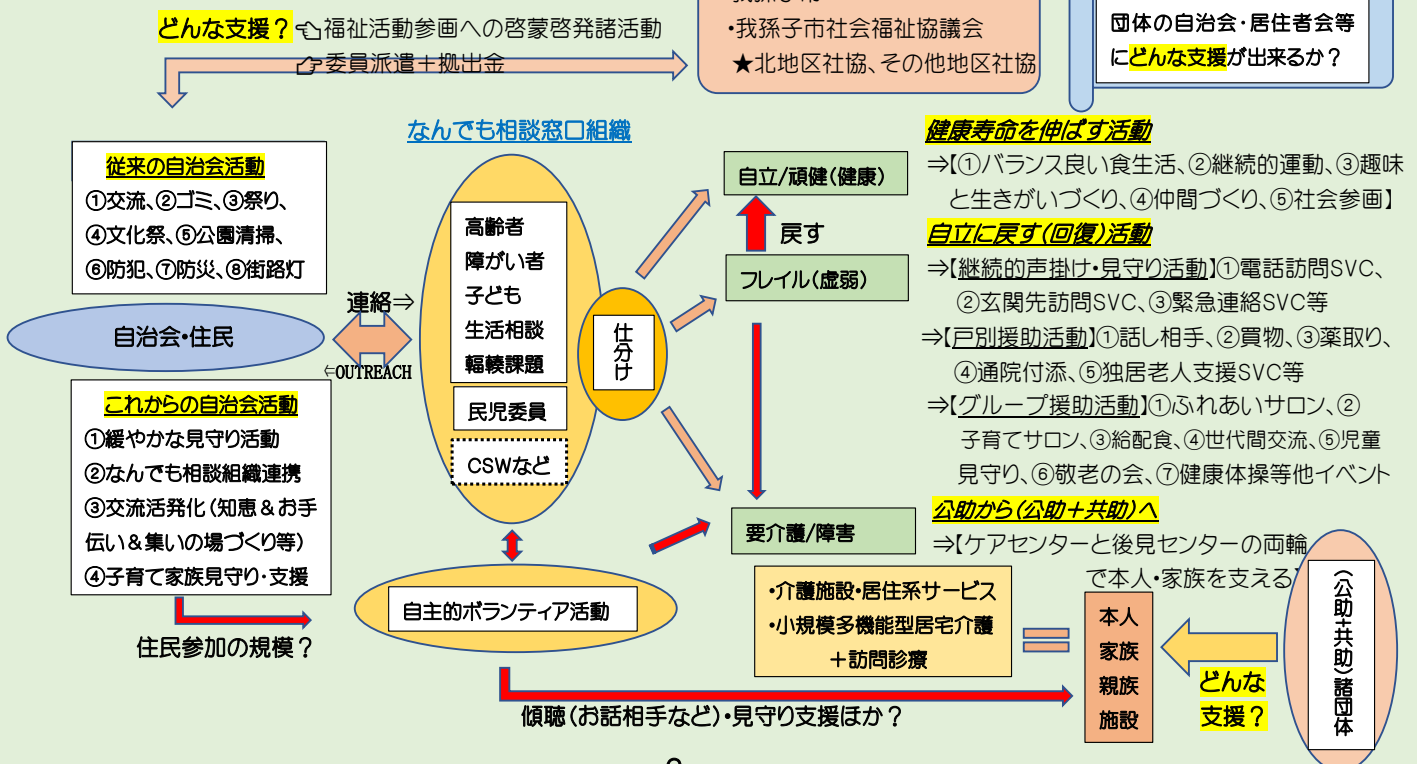
🏠【意見交換の主なポイント！】～以下は主として東自治会を中心としたレポートです～

- ◆両自治会とも柏崎会長挨拶、原田副会長の各部会説明、亘理副会長の各プロジェクト説明。
- ◆北地区社協の位置付けについて柏崎会長より「北地区社協は具体的な事業を直接扱うことはできず、各福祉活動や事業を直接に運営する団体や組織に繋いで行く「地域共助」ネットワーク作りという側面支援の役割を果たすことで地域福祉の充実を促進させることを主眼としています。」という地区社協の事業・活動範囲の基本的な制約とその上での事業目的につき説明がありました。
- ◆まちづくり協議会との関係が重複しているのではないかと、活動するにはあまりに原資が少ないし横浜社協のように収益事業等にも幅を

- ◆地域共生社会には交流を活発化し健康寿命を伸ばし男性高齢者を社会参画させるためにも住民が参加できる「集いの場づくり」（例えば各自治会集会所の建替え等を含め）が必要で、子育て世代にも子供の待機・遊びの場として有効との意見が出ました。（⇒市補助金制度をアドバイス）「集いの場」の活用方法は既に住民が良く知りネットワークも豊富なので心配無いとのこと。
- ◆課題を抱える人達に関係機関の方々が訪ねても拒絶される場合も多いが、その場合には潤滑油的な対応に経験深い北地区社協に相談して貰いたいと柏崎会長から。

🏠【意見交換用資料(つくし野東自治会作成)】

～仕分け後の図は高齢者世代のみを対象にしたもの～



周囲を見渡せば、子供や若者はめっきり減り、老人ばかりに……。私たちの住む我孫子市の風景は、もう直ぐこのように！ 住民の 3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になる日が目前です。



厚生労働省の資料(*)によると、我孫子市の人口は、2010 年の 134,017 人をピークに、2020 年には 130,473 人に減少、2030 年には 123,579 人へと更に減少すると見込まれています。65 歳以上の老年人口割合は、2010 年の 24.1% が、2020 年には 31.4% に、2030 年には 34.2% へと、20 年間で 10% も上昇する見込みです。

◆わが国は世界有数の長寿国

(2017 年の平均寿命は、男子:81 歳、女子:87 歳)を誇っていますが、「長寿」であることを「ぬか喜び」できません。健康寿命と平均寿命の差は、男女ともに約 10 年です。これは、健康寿命に続く「人生を終えるまでの約 10 年間」は、「介護を必要とする状態」となるであろうことを意味しているのです。

市民生活面では、認知症患者への対応や寝たきり老人の介護は切実さを増し、独居老人、老老介護、介護難民、特別養護老人ホームの不足と入居待機者増など、指摘される事項は数多くあります。

◆「介護保険制度」

これらを取り切るため、関連する制度の見直しも進んでいます。その中核となる「介護保険制度」は、高齢者の介護や治療のための経済的負担の軽減などに支援を必要とする人を社会全体で支える仕組みとして 2000 年 4 月に施行されました。



1. こんな時はご相談を！（一例です）

- ・ 日常の家事や介護で困っている！
- ・ 介護の負担が重い、軽くしたい！
- ・ 急用の時などに助けて欲しい！
- ・ どんな介護サービスがあるの？
- ・ 介護予防の指導を受けたい！
- ・ 自宅での介護環境を整えたい！
- ・ 介護用具を一時的に借りたい！
- ・ どんな老人ホーム・介護施設が？
- ・ 介護保険のきくサービスは？
- ・ その他 介護について相談したい！



◆「自助・共助・公助」

しかし、社会保障関連制度(老人・児童・障害者福祉など)を維持するための費用(公的負担)は増加の一途にあり、今日では、高齢者福祉の面でも自然災害への備えと同様に「自助・共助・公助」の考え方が広がっています。

「介護が必要となる前に予防を！」という取り組みや障害福祉と介護保険事業の一元化を目指した「社会福祉法」の見直しも進んでいます。

◆住み慣れたまちで安心して

暮らし続けるために

「支援・介護を必要とするご本人、ご家族」のみならず、次世代を担う若い世代や健常者も「社会福祉制度」の現状と課題をよく認識しておくことが大切です。お近くの「(老人)福祉施設」をご自身の目で見ておくことも有益でしょう。

我孫子市北地区においても、全ての地域住民が日頃からこれら問題に関心を寄せ、「公助」の限界を知りつつ、「自助」として健康寿命の維持と介護予防に努め、「共助」として共に支え合う「地域共生社会」を目指すことが、今日的な課題となっているのです。



2. 主な相談窓口

- (1) 我孫子市 健康福祉部 高齢者支援課
- (2) 我孫子市 社会福祉協議会
- (3) 我孫子市 高齢者なんでも相談室
- (4) お住いの地区を担当する民生委員
- (5) お近くの社会福祉施設 他

3. データ(*印)

国立社会保障・人口問題研究所:「日本の地域別将来推計人口(平成 30 年推計)」他

我孫子北地区社会福祉協議会

第 22 回 健康と福祉のつどい

～このまちで安心して暮らしつづけるために～

日時：平成 31 年 3 月 3 日(日) 9:40～15:30

会場：あびこ市民プラザ(あびこショッピングプラザ3F)

入場無料

講演

会場：ホール **10:00～11:30**

『排尿障害のおはなし』

定員 200 名
要約筆記あり

～おしっこに関するお困りごとはありませんか？～

千葉西総合病院 泌尿器科 三井 要造 先生

島根医科大学 H14 卒 日本泌尿器科学会 専門医・指導医
日本臨床腎移植学会 認定医 日本移植学会 移植認定医
日本透析学会 専門医・指導医 日本内視鏡外科学会 技術認定
日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定



ホール

9:15～15:30

- | | | |
|-------------|------------------------|-------------------------|
| 9:15 | 開場 | |
| 9:40～10:00 | 開会式 | |
| 10:00～11:30 | 講演 | ・三井 要造 先生 |
| 11:30～12:00 | 健康体操 | ・山崎 睦子 さん |
| | 休憩 | |
| 12:30～13:00 | ハンドベル演奏 | ・我孫子市障害者福祉センター |
| 13:00～13:30 | 学生落語 | ・キンレイ出張落語会 |
| 13:30～14:00 | 防犯講話 | ・我孫子警察署生活安全課 |
| 14:00～14:30 | フラダンス | ・カエナフラあびこ |
| 14:30～15:30 | 歌と演奏・思い出の曲～みんなで歌いましょう～ | ・びこうず mini 酒井 昭憲さん・玲子さん |

第 1 会議室

12:00～15:30

- ・健康介護相談
- ・血管年齢測定(先着 70 名)
- ・骨健康測定(先着 70 名)
- ・頭の元気度測定(先着 30 名)

※9:15 より
受付にて整理券
を配布します。



サロン

福祉団体の即売会 **9:40～15:30** / パネル展示 **9:40～15:30**

※なお、ご来場 300 名様に我孫子北地区社会福祉協議会 20 周年記念の粗品を進呈させていただきます。

主催：我孫子北地区社会福祉協議会
我孫子市社会福祉協議会
我孫子市

お問合せ：我孫子北地区社会福祉協議会
TEL/FAX：04-7165-3434
メールアドレス：kita@abiko-shakyo.com